

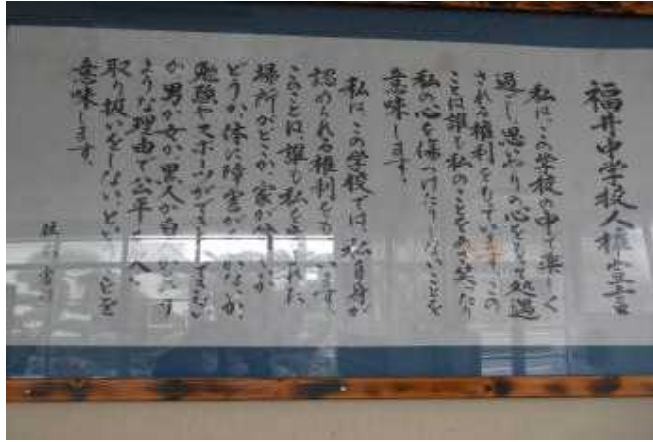
福中通信2022

5月号



令和4年5月1日
発行責任者 市瀬 佐代

○「福井中学校人権宣言」を大切に

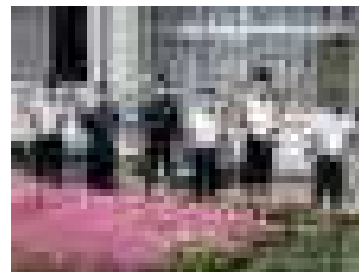
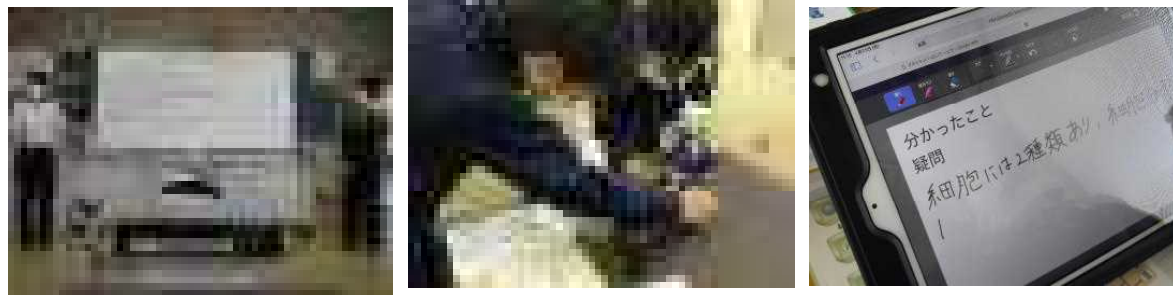


玄関に掲示されている「福井中学校人権宣言」。人権委員会の3年生が、全校読書後に読んでくれました。そのあと、「自分たちの学校生活で大切にしたいものはどんなことですか?」と問いかけがありました。この人権宣言は、福井中学校がずっと大切にしてきたものです。また、毎日の学校生活、今年で39作めとなる人権劇のベースとなるものです。周りの状況がどんなに変化しようとも変わらない、心のよりどころです。大事にしていきたいです。

○GIGAスクール タブレット学習と最近の学習風景

一人一台タブレットの実現から1年。授業や学校行事等、様々な場面で使用してきました。タブレットを使うだけでなく、ホワイトボードや新しい教材を使った学習もしています。タブレットを使って「分かったこと」や「疑問点」を書きふり返りをしています。教室での学習だけではなく、技術の授業では、ミニ農園にレタスやタマネギを植え、生長を見守り収穫まで行いました。

【ホワイトボードミーティング】 【新しい顕微鏡を使って】 【タブレットでふり返り】



【いただいたレタスの苗が立派に生長し収穫できました。ありがとうございました。授業で育てたタマネギも大きく生長し、収穫できました。】

・前期学級委員長任命

よりよい福井中学校を作っていきますよう。よろしくお願いいたします。

学年	委員長	副委員長
1	☆☆さん	☆☆さん
2	☆☆さん	☆☆さん
3	☆☆さん	☆☆さん



・対面式、部活動紹介

現在、1年生も部活動に入部し、元気に活動しています。今年は、春の大会が予定通り実施できています。連休中にも各所で試合があります。

秋の新人戦から、総体までのカウントダウン。終盤に近づいています。3年生にとっては、総体前の大切な時期です。一試合一試合の学びを生かしていきましょう。



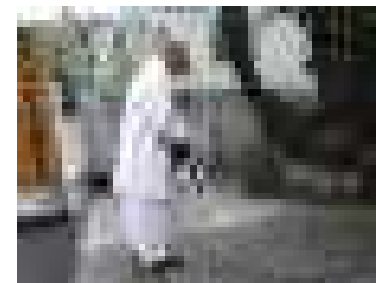
・各部活動の試合の様子

女子テニス部の県選手権大会団体の部が行われました。一生懸命プレイする姿が見られました。県選手権個人、総体に向けて頑張ってください。



・美しい学校環境に整えられています。

玄関の石畳が美しくなりました。お世話になりました。



阿南光高校から美しいシンビジウムをいただきました。ありがとうございました。

・家庭訪問・授業参観等では大変お世話になりました。ありがとうございました。裏面もごらんください。

5月行事予定	14日(土)県中学校ソフトテニス選手権大会男子個人 軟式野球春季リーグ戦
1日(日)家庭人権学習の日 南部Bブロック男子テニス春季大会 軟式野球春季リーグ戦	15日(日)県中学校ソフトテニス選手権大会女子個人
2日(月)全校集会・地域別生徒会⑥ ALT来校	19日(木)3年実力テスト・ALT来校 ノー部活デー
3日(火)憲法記念日 軟式野球春季リーグ戦	20日(金)学校安全の日・ひまわり号
4日(水)みどりの日	21日(土)奉仕作業・リサイクル品回収
5日(木)こどもの日 県中学校卓球選手権大会 シングルス	22日(日)奉仕作業・リサイクル品回収 予備日
6日(金)振替休業日(4月29日)	23日(月)振替休業日
7日(土)南部Bブロック卓球春季大会	25日(水)3年科学センター理科学習
10日(月)心電図検査 ALT来校	26日(木)ノー部活デー・スクールカウンセラー来校
11日(水)交通安全教室⑥	27日(金)専門委員会
12日(木)ノー部活デー・スクールカウンセラー来校	30日(月)ALT来校

第31回全国中学生人権作文コンテスト入賞作品

「いじめのスパイラル」

山口県・周南市立秋月中学校 3年

花田 祥代 (はなだ さちよ)

法務大臣政務官賞

「ただいま」と私は元気に家に帰りました。リビングに入ると母は私に「今日は元気だね。」と言いました。母はいつも私の「ただいま」の声のトーンでその日学校で何があったかを察しているようです。私の声に元気がないと「学校で何かあったん？」と心配してくれます。

その日、私が学校から帰り、リビングのソファに座ってテレビを見ていたら、いじめに関するニュースをやっていました。すると母が独り言のように「あの頃は大変やったね。」とつぶやきました。私も目をつぶり苦しかった「あの頃」を思い出しました。

中学校一年生の頃の私はいじめなんて自分に関係ないと思っていました。私は運動部に所属し、その中で一年生はグループに分かれることはあっても自分一人になることはありませんでした。だから私は安心していました。

ところが、私は急に一人ぼっちになり始めたのです。自分では、なぜそうなるのか分かりませんでした。離れていく友達に焦りと不安を感じながら、必死にみんなについていきました。でも、日が経つにつれて友達は完全に私から離れていき、私は一人ぼっちになりました。いじめは、部活動中だけでなく日常生活にも広がっていきました。でも家族にはこのことを一切話しませんでした。心配をかけたくなかったのと、自分のこんな情けない姿を見せたくなかったからです。辛かったけど、クラスの友達がいつも一緒にいてくれたので何とかまだ耐えられました。いつも笑顔で明るいふりをして、誰も見ていないところで泣く、そんな学校生活を送っていました。

そんなある日、学校で生活アンケートがありました。その中にいじめに関する項目があり、私はその質問を読んでしばらく考えました。迷ったあげく、限界を感じていた私は全て正直に答えました。その日私は家に帰って両親にも正直に話しました。私が泣きながら話すと、父も母も「よく頑張ったね。」と泣きながら私の背中をなでてくれました。部活の先輩にも相談したら、先輩は黙って私の話を聞いて下さり、その日からいつも私の帰りを待って一緒に帰って下さいました。そして部活中にも「さっちゃんおいで。」と声をかけて下さいました。先生も家に来て話を聞いて下さいました。たくさんの人が私の話を聞いてくれ、言葉をかけて下さいました。真っ暗だった私の心は少しずつ明るさを取り戻していきました。

その後、部活の一年生は全員図書室に集められ、一人ずつ別の部屋で先生と一対一の話し合いが行われました。そして私も呼ばれ、先生と話しました。そこで私は驚くべきことを知りました。ある子が小学生の頃私に嫌なことを言われ、とても傷ついたそうです。それが今回のいじめにつながったと泣きながら話してくれたというのです。私はそのことを全く覚えていませんでした。「傷つけた方は覚えていなくても傷つけられた方はいつまでも心の傷は残る」まさに私たちのことだと思いました。私はその子に申し訳ない気持ちで一杯になりました。

全員の保護者も交えての話し合いの後、私へのいじめはなくなり、少しずつ前の仲のよい関係に戻っていきました。私が傷つけたあの子とは、互いに泣きながら謝り、今では心から信頼し合える関係になっています。

あのときはとても辛く苦しかったのですが、私はこの体験を通してたくさんのことを学びました。その中でも二つのことが特に心に残っています。

一つめはいじめられた人の気持ちです。いじている人はいじめられている人の気持ちをわかっていません。だから私もいじめられている時は、いじている人が反対にいじめられたらいいのにとか、仕返しをしてやるとか思っていました。でも憎しみはまた新たな憎しみを生むだけです。どこかでそれを断ち切らなければずっと続いていくのです。せつなく辛い思いをして学んだことなのでそれを生かそうと思いました。それから私は一人ぼっちの子がいたら話しかけたり、相談に乗ったりするよう心がけています。また、いつも相手の気持ちを考えるよう努力しています。

二つめは自分はたくさんの人に支えられているということです。あの頃の私は両親や先生、先輩やクラスの友達が支えてくれたおかげで、いじめという壁を乗り越えることができました。今があるのはみんなのおかげだと感謝しています。人は一人では生きていけない、支え合いながら生きているのだと実感しました。今度は私が誰かを支えていけたらと思っています。

ふと目を開けると母は微笑みながら私を見つめていました。そして、「でも、さっちゃんはそのおかげで強くなった。」と言いました。私は母の言葉に「うん。」と力強くうなずきました。私はもう偽りの笑顔や元気なふりはしません。まっすぐ前を向いて生きていきます。

